

<2021年度>

第7回理事会議案書

2022年 3月 15日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2021年度
第7回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所 : 鉄鋼会館 802 号室

日 時 : 2022 年 3 月 15 日 (火)
14:00 ~ 17:00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

資 料

第 1 号議案 2022 年度 予算(案)承認の件 ----- [理 21-7-議 1] <p3-6>

第 2 号議案 2022 年度 永年勤続表彰対象者承認の件 ----- [理 21-7-議 2] <p7-10>

6. 報告事項

(1) 業務執行理事の業務執行状況報告 ----- [理 21-7-報 1] <p12>

(2) その他

7. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 21-7-他 1] <p14-18>

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 21-7-他 2] <p19>

(3) 主要会議日程 ----- [理 21-7-他 3] <p20>

(4) 支部報告 ----- [理 21-7-他 4] <p21-29>

8. 閉会の辞

以上

第1号議案 2022年度 予算(案)承認の件 〔議案書 p3～6〕
2022年度予算(案)について、承認の決議をいただきたい。

第2号議案 2022年度 永年勤続表彰対象者承認の件 〔議案書 p7～10〕
表彰規程第3条による永年勤続表彰に関し、別紙の者を2022年度表彰対象者とする
ことについて、承認の決議をいただきたい。

2022年度予算(案)〔事業内容、対2021年度予算差異〕

			2021年度				
			事業実施(計画) 内容	予算 A	実績見込		差異内訳
					B	B-A	
経常収益	会費	正会員会費	構成員数:2210社前提	215,000	218,800	3,800	
		賛助会員会費	賛助会員:35社<新規1社含む>前提	6,700	6,700	0	
		構成員登録料	30社新規入会	3,000	2,500	▲ 500	
	事業収入	検査技術者事業収入	2021年度事業規模相当	75,300	66,550	▲ 8,750	講習料補助を含む
		共済事業収入	2021年度事業規模相当	15,200	15,900	700	
		事務請負事業収入	2021年度請負事業規模相当	88,500	53,500	▲ 35,000	契約範囲変更
他	雑収入	高規格材申請:2社前提	1,500	8,100	6,600		
経常収益計			405,200	372,050	▲ 33,150		
直接費	直接費	法人管理		57,800	48,000	▲ 9,800	
			・総会、理事会関係 その他	57,800	48,000	▲ 9,800	総会理事会費: ▲6500 旅費: ▲3200
		技術開発普及事業		51,200	42,920	▲ 8,280	
			・サポート制度(事務委託費)	10,575	10,580	5	
			・助成金(事務委託費)	3,000	2,000	▲ 1,000	
			・資格支援:検査技術者講習費(負担金)	20,000	20,260	260	
			・資格支援:特化物作業主任者(負担金)	11,000	7,020	▲ 3,980	
			・基準マニュアルHP開示(印刷費)	0	440	440	
			・その他	6,625	2,620	▲ 4,005	旅費交通費、交際費減
		検査技術者養成事業	・検査 実技任意講習	61,400	58,900	▲ 2,500	2020年度分含
		会員共益事業		37,100	22,400	▲ 14,700	
			・青年部、賛助会員関連(意見交換会等)	3,100	900	▲ 2,200	規模縮小
			・青年部助成金	3,000	1,400	▲ 1,600	
			・(新設)WG活動	12,300	1,200	▲ 11,100	リモート実施
			・採用ポスターWG(新設)活動	3,400		▲ 3,400	2020年度中終了
			・運営委員会	1,400	500	▲ 900	
		・会報、安全ポスター、共積、業績調査等	11,300	9,900	▲ 1,400	会報発刊2回	
	・その他	2,600	8,500	5,900	HP改造		
共済事業	・共済関連事業費(会議、旅費等)	5,500	5,800	300			
事務請負事業		48,700	15,400	▲ 33,300			
	技術者教育C	・技術者試験・継続・登録 事務	48,700	15,400	▲ 33,300	契約範囲下期変更	
	支援協/登録機構、全鉄評	0	0	0			
直接費小計			261,700	193,420	▲ 68,280		
間接費	共通費用		142,800	136,500	▲ 6,300		
			・人件費関連	102,000	90,600	▲ 11,400	評価要員、職員退職等
		・その他	40,800	45,900	5,100	検査システム請求分(雑収)	
経常費用計			404,500	329,920	▲ 74,580		
当期経常増減			700	42,130	41,430		

(単位:千円)

2022年度					
区分	事業計画 内容	予算 C	対2021年度 予算差異 C-A	差異内訳/計画前提	対2021年度 実見差異 C-B
		217,900	2,900		▲ 900
		6,700	0		0
		3,000	0		500
		53,000	▲ 22,300	補助なし	▲ 13,550
		15,800	600		▲ 100
		39,200	▲ 49,300	事務局実働+配賦	▲ 14,300
		6,800	5,300	* 検査システム請求分、雑収計上	▲ 1,300
		342,400	▲ 62,800		▲ 29,650
		68,100	10,300		20,100
◎		68,100	10,300	総会理事会費: +5200 旅費: +3500	20,100
		42,100	▲ 9,100		▲ 820
継続	・サポート制度(事務委託費)	8,100	▲ 2,475	470→360	▲ 2,480
継続	・助成金(事務委託費)	3,000	0		1,000
継続	・資格支援:検査技術者講習費(負担金)	0	▲ 20,000	講習会補助取止め	▲ 20,260
継続	・資格支援:特化物作業主任者(負担金)	3,000	▲ 8,000	昨年度申請遅延承認分	▲ 4,020
新規	・フィットテスト実施者講習補助(負担金)				
新規	・溶接施工基準マニュアル勉強会(負担金)	15,000	15,000		15,000
新規	・鉄骨技能士WG、技術者資格WG	2,000	2,000		2,000
◎	・その他	11,000	4,375	対面による旅費交通費、印刷費、PCR検査増	8,380
◎		55,000	▲ 6,400	(別途固定資産木製柱試験体1500万)	▲ 3,900
		45,500	8,400		23,100
継続	・青年部、賛助会員関連(意見交換会等)	3,200	100	例年並みの実施	2,300
継続		4,000	1,000	例年並み(40県程度の申請)の実施	2,600
新規	・教育、周年、中期、特定技能 各WG活動	4,200	▲ 8,100		3,000
新規	・幹部育成研修会	13,200	13,200		0
			▲ 3,400		
継続		3,000	1,600	対面実施	2,500
◎		11,500	200	例年並みの実施	1,600
◎	・HP保守、パンフ(ウエルディングショー関連)作成	6,400	3,800		▲ 2,100
◎		8,200	2,700	対面前提、統合パンフ作成	2,400
		8,500	▲ 40,200		▲ 6,900
◎		8,500	▲ 40,200	契約範囲変更	▲ 6,900
		0	0		0
		227,400	▲ 34,300		33,980
		131,000	▲ 11,800		▲ 5,500
◎	・人件費関連	84,700	▲ 17,300	評価要員、役員報酬	▲ 5,900
へ) ◎	・その他	46,300	5,500	* 検査システム請求分(雑収へ)	400
		358,400	▲ 46,100		28,480
		▲ 16,000	▲ 16,700		▲ 58,130

2022年3月15日
(単位:千円)

2022年度予算(0315理事会用)

2022年度予算

	科 目	直配区分	法人会計 管理運営	実 施 事 業 会 計			そ の 他 の 会 計						合計	
				技術普及及研究事業	検定員養成事業	小計	会員共益事業	共済事業	事務請負事業			中計		
									教育センター	支援協議会	試験機構			
経常収益	【受取会費】		227,602	0	0	0	0	0	0	0	0	0	227,602	
	正会員受取会費		217,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	217,900	
	賛助会員受取会費		6,702	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,702	
	構成員受取会費		3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	
	【募集収益】		0	0	53,000	53,000	0	15,828	36,750	1,427	1,006	39,183	55,011	108,011
	検定員養成事業収益		0	0	53,000	53,000	0	0	0	0	0	0	0	53,000
	共済事業収益		0	0	0	0	0	15,828	0	0	0	0	15,828	15,828
	事務請負事業収益		0	0	0	0	0	0	36,750	1,427	1,006	39,183	39,183	39,183
	【雑収益】		815	0	4,680	4,680	1,320	0	0	0	0	0	1,320	6,815
	雑収益		670	0	4,680	4,680	1,320	0	0	0	0	0	1,320	6,670
	受取配当金		145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	145
		経常収益計		228,417	0	57,680	57,680	1,320	15,828	36,750	1,427	1,006	39,183	56,331
	1 給料手当	配賦	6,530	12,118	11,264	23,382	15,351	5,687	14,353	855	855	16,063	37,101	67,013
	2 退職給付費用	直課	6,757	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,757
	臨時雇賃金	直課	0	0	1,445	1,445	0	0	3,434	0	0	3,434	3,434	4,879
	配賦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 法定福利費	配賦	7,389	2,072	1,921	3,993	2,649	984	2,386	151	151	2,688	6,321	17,703
	直課	15,805	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,805
	6 総会・理事会費	直課	7,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,600
	支部会議費	直課	6,250	630	1,760	2,390	1,351	15	0	0	0	0	1,366	10,006
	8 会議費	直課	9,942	7,300	7,625	14,925	9,695	1,800	2,213	0	0	2,213	13,708	38,575
	9 旅費交通費	配賦	1,574	450	413	863	563	225	525	0	0	525	1,313	3,750
	旅費交通費	直課	325	60	5,800	5,860	1,225	150	0	0	0	0	1,375	7,560
	10 通信運搬費	配賦	287	161	161	322	230	81	218	12	0	230	541	1,150
	直課	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	
11 什器備品費	配賦	25	14	14	28	20	7	19	1	0	20	47	100	
	直課	20	1,310	250	1,560	0	12	0	0	0	0	12	1,592	1,592
12 消耗品費	配賦	450	252	252	504	360	126	342	18	0	360	846	1,800	1,800
	直課	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200
13 修繕費	配賦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

14	印刷製本費	直課	185	210	4,400	4,610	9,232	1,520	0	0	0	0	10,752	15,547
14	印刷製本費	配賦	75	42	42	84	60	21	57	3	0	60	141	300
15	水道光熱費	配賦	200	112	112	224	160	56	152	8	0	160	378	800
16	賃借料	直課	546	300	10,000	10,300	4,800	200	0	0	0	4,500	5,000	15,846
16	賃借料	配賦	5,825	3,150	3,150	6,300	4,500	1,575	4,275	225	0	0	10,575	22,500
17	床敷料	直課	270	30	350	380	116	22	150	0	0	150	288	938
18	諸謝金	直課	0	310	12,000	12,310	5,260	0	0	0	0	0	5,260	17,570
19	租税公課	直課	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
20	負担金	配賦	1,425	798	798	1,596	1,140	399	1,083	57	0	1,140	2,679	5,700
20	負担金	直課	1,390	18,000	15	18,015	5,000	4,118	0	0	0	0	9,118	28,523
21	交際費	直課	450	1,900	1,330	3,230	2,300	380	0	0	0	0	2,680	6,360
22	慶弔費	直課	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
23	新聞図書費	直課	884	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	884
24	支払手数料	直課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	支払手数料	配賦	500	280	280	560	400	140	380	20	0	400	940	2,000
25	顧問料	直課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	顧問料	配賦	930	448	448	896	640	224	608	32	0	640	1,504	3,330
26	寄付金	直課	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000
27	広告宣伝費	直課	11,144	500	0	500	2,309	0	0	0	0	0	2,309	13,953
28	事務委託費	直課	251	11,100	840	11,940	2,270	0	2,600	0	0	2,600	4,870	17,061
28	事務委託費	配賦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	調査研究費	直課	200	50	400	450	200	0	0	0	0	0	200	850
30	検査器材費	直課	0	0	1,900	1,900	0	0	0	0	0	0	0	1,900
31	雑費	直課	3,500	100	40	140	0	0	0	0	0	0	0	3,640
32	災害義援金	直課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	減価償却費(建物付属設備)	直課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	減価償却費(建物付属設備)	配賦	185	111	74	185	148	74	111	37	0	148	370	740
34	減価償却費(器具・備品)	直課	327	0	181	181	0	0	125	0	0	125	125	633
34	減価償却費(器具・備品)	配賦	43	26	17	43	34	17	26	8	0	34	85	171
35	減価償却費(ソフトウェア)	直課	412	0	6,675	6,675	495	0	0	0	0	0	495	7,582
	経常費用計		95,896	62,384	74,232	136,616	72,083	17,983	33,407	1,427	1,006	35,840	125,906	358,418
	当期経常増減額		132,521	▲ 62,384	▲ 16,552	▲ 78,936	▲ 70,763	▲ 2,155	3,343	0	0	3,343	▲ 69,575	▲ 15,990
0														
経常費用・直課科目 合計			68,108	42,050	55,011	97,061	45,453	8,217	8,522	0	0	8,522	62,192	227,361
経常費用・配賦科目 合計			27,788	20,334	19,221	39,555	26,630	9,766	24,885	1,427	1,006	27,318	63,714	131,057
経常費用合計(直課+配賦)			95,896	62,384	74,232	136,616	72,083	17,983	33,407	1,427	1,006	35,840	125,906	358,418

2022年度 表彰者名簿

全構協表彰者集計一覧表

都道府県	役 員	事 務 局	合 計	都道府県	役 員	事 務 局	合 計
北 海 道			0	京 都		1	1
青 森			0	大 阪			0
岩 手			0	兵 庫			0
宮 城			0	奈 良	3		3
秋 田			0	和 歌 山	2		2
山 形			0	鳥 取	1		1
福 島	2	1	3	島 根	3		3
茨 城			0	岡 山			0
栃 木	1	1	2	広 島			0
群 馬	3		3	山 口			0
埼 玉	2		2	徳 島	1		1
千 葉			0	香 川	1		1
東 京	2		2	愛 媛			0
神 奈 川			0	高 知			0
新 潟	2		2	福 岡			0
山 梨			0	佐 賀			0
長 野			0	長 崎			0
富 山	1		1	熊 本			0
石 川			0	大 分	2		2
福 井			0	宮 崎			0
岐 阜			0	鹿 児 島			0
静 岡	1		1	沖 縄			0
愛 知	3		3	全 構 協	—	1	1
三 重			0				
滋 賀		1	1	合 計	30	5	35

正 会 員 役 員 30名

正会員事務局職員 4名

全構協事務局職員 1名

合計 35名

2022年度 全構協正会員役員表彰者名簿

氏 名	正会員名	役職名
小野瀬 賢 治	福 島 県 鉄 構 工 業 組 合	理 事
秋 元 五 郎	〃	理 事
薄 井 隆	一般社団法人栃木県鉄構工業会	理 事
大 竹 良 明	群 馬 県 鐵 構 業 協 同 組 合	理 事 長
佐 藤 敬	〃	理 事
小 島 悟	〃	監 事
藁 科 俊 也	埼 玉 県 鉄 構 業 協 同 組 合	副 理 事 長
原 二三男	〃	監 事
前 田 茂 昭	東 京 鉄 構 工 業 協 同 組 合	副 理 事 長
金 谷 義 昭	〃	理 事
石 坂 昌 一	新 潟 県 鉄 骨 工 業 組 合	副 理 事 長
知 野 浩 一	〃	理 事
吉 岡 龍 範	富 山 県 鉄 構 工 業 協 同 組 合	理 事
渡 邊 靖 之	静 岡 県 鐵 構 工 業 協 同 組 合	理 事 長
榑 原 清 孝	愛 知 県 鉄 構 工 業 協 同 組 合	副 理 事 長
服 部 浩 昭	〃	副 理 事 長
山 梨 正	〃	理 事
水 野 賢 司	奈 良 県 鉄 構 建 設 業 協 同 組 合	理 事
上 柿 範 兼	〃	理 事
下 田 博	〃	理 事
濱 出 吉 高	和 歌 山 県 鉄 構 工 業 協 同 組 合 連 合 会	理 事
横 田 敏 郎	〃	理 事
竹 田 安 夫	協 同 組 合 鳥 取 県 鉄 構 工 業 会	副 理 事 長
高 橋 伸 和	協 同 組 合 島 根 県 鐵 構 工 業 会	副 理 事 長
森 広 幸 吉	〃	理 事
須 田 巧	〃	理 事
上古見 英 典	徳 島 県 鉄 骨 構 造 協 同 組 合	理 事
蓮 井 逸 宏	香 川 県 鋼 構 造 協 同 組 合	副 理 事 長
清 松 芳 夫	協 同 組 合 大 分 県 鉄 構 工 業 会	理 事 長
中 野 大 輔	〃	理 事

2022年度 全構協事務局職員表彰者名簿

氏 名	所属団体名	役職名
佐 藤 達 也	一般社団法人全国鐵構工業協会	担 当 部 長

2022年度 全構協正会員事務局職員表彰者名簿

氏 名	正会員名	役職名
須 田 愛	福 島 県 鉄 構 工 業 組 合	職 員
和 久 有 里	一般社団法人栃木県鉄構工業会	職 員
田 中 明 子	滋 賀 県 鐵 構 工 業 組 合	職 員
岡 田 寛 美	京 都 府 鉄 構 工 業 協 同 組 合	職 員

報 告 事 項

2022. 3. 15.

代 表 理 事 等 の 業 務 執 行 状 況 報 告

法人法第91条第2項及び定款第24条第6項に基づき、2021年度11月から現在までの業務施行状況について、下記のとおり報告します。

なお、各事項の詳細内容については、2021年度第4回(11月16日開催)から第7回(3月15日開催)までの理事会において説明・報告済であるため、本報告は、項目の報告のみといたします。

	代表理事	業務執行理事(専)	業務執行理事(常)
1. 協会の運営全般に関する事項			
(1) 理事会の開催・運営			
・ 第4回理事会 (2021年 11月 16日開催)	◎	◎	◎
・ 第5回理事会 (2022年 1月14日開催)	◎	◎	◎
・ 第6回理事会 (2022年 2月21日開催)	◎	◎	◎
・ 第7回理事会 (2022年 3月15日開催)	◎	◎	◎
(2) 三役会 (11月16日～3月15日 全7回)	◎	◎	◎
(3) 委員会の開催・運営、参加			
・ 運営委員会 ・3月11日	◎	◎	◎
・ 技術委員会(分科会<WG>を含む) ・11月17日 ・2月9日		◎	◎
・ 災害時BCP策定WG ・1月27日			◎
・ 事業継承対策WG ・1月28日			◎
・ 日報デジタル化検討WG ・11月24日・1月19日			◎
・ リモート製品検査検討WG ・11月17日・12月16日			◎
・ ホームページ改造WG ・2月16日			◎
(4) その他会議等の開催・運営、参加			
・ 共済連絡会議 ・1月17日			◎
・ 技術研究開発助成案件選考委員会 ・2月17日			◎
・ 国際ウエルディングショー出展準備WG ・2月15日 ・3月4日			◎
・ 鉄骨技術審議会 ・11月17日	◎	◎	◎
・ 鉄骨技術審議会 新旧委員への対応	◎	◎	
(5) 2022年度事業計画及び予算とりまとめ	◎	◎	◎
2. 鉄骨材料調達難への対応			
(1) 国交省、経産省への説明及び要望(12月10日)	◎	◎	◎
(2) ゼネコン業界団体への説明及び要望(12月16日)	◎	◎	◎
3. 会員に対する協会運営方針等の説明・周知及び 会員意見の聴取			
(1) 全国理事長会 ・1月14日	◎	◎	
4. 青年部会の育成、連携強化			
・ 青年部会ブロック長との意見交換会 ・11月16日	◎	◎	◎
5. 対外活動及び他団体との連携強化			
(1) 鉄骨技術者教育センター			
○ 三役会・11月26日・3月9日 ○ 理事会・11月30日	◎		
○ 懇談会・1月19日	◎		
(2) その他団体等			
○ JFEスチール 幹部との懇談	◎	◎	◎
6. 報道機関への対応			
・ 鋼構造出版 ・ 鉄鋼新聞 ・ 産報出版	◎	◎	

○代表理事＝米森会長。

○業務執行理事(専)＝小貫専務理事。業務執行理事(常)＝大橋常務理事。

その他の定例報告事項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和3年3月31日現在 (令和2年度増減数)		32	34	2,197
令和3年5月20日 第1回理事会	3月31日	(0)	(12)	2,197
令和3年6月29日 第2回理事会	6月21日	13	0	2,210
令和3年9月28日 第3回理事会	9月21日	4	4	2,210
令和3年11月16日 第4回理事会	11月8日	3	4	2,209
令和4年1月14日 第5回理事会	1月7日	3	5	2,207
令和4年2月21日 第6回理事会	2月14日	3	2	2,208
令和4年3月15日 第7回理事会	3月7日	1	3	2,206
累 計		27	18	2,206

《グレード別内訳》

S : 5 H : 273 M : 823 R : 606 J : 45 未 : 454 合計 : 2,206

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和4年3月7日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数
		登録 社数	取消社数								
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他	合 計		
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199
令和2年度合計		32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197
令和 3 年度	第 2 回 (6月21日)	13	0	0	0	0	0	0	0	13	2,210
	第 3 回 (9月21日)	4	0	2	1	0	0	1	4	0	2,210
	第 4 回 (11月8日)	3	1	1	1	0	0	1	4	-1	2,209
	第 5 回 (1月7日)	3	0	2	0	1	0	2	5	-2	2,207
	第 6 回 (2月14日)	3	0	0	0	0	0	2	2	1	2,208
	第 7 回 (3月7日)	1	0	0	2	0	0	1	3	-2	2,206
	第 8 回 (月 日)										
	年度末処理										
	3年度計	27	1	5	4	1	0	7	18	9	2,206
累 計		1,063	500	678	534	127	79	1,160	3,078	-2,015	2,206

1. 転・廃業内訳	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	転業 0社	転業 1社	転業 1社	転業 0社	転業 1社
	廃業 9社	廃業 4社	廃業 9社	廃業 12社	廃業 4社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
令和3年度	0	1	4	1	0	12	18

構成員登録社数・増減一覧表

(R4. 2. 15~R4. 3. 7)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	73			0	73
	青森	37			0	37
	岩手	32			0	32
	宮城	42			0	42
	秋田	23			0	23
東北	山形	27			0	27
	福島	61			0	61
	茨城	61			0	61
	栃木	51			0	51
	群馬	65			0	65
関東	埼玉	53			0	53
	千葉	59			0	59
	東京	47			0	47
	神奈川	41			0	41
	新潟	87			0	87
北陸	山梨	31			0	31
	長野	67			0	67
	富山	40			0	40
	石川	33			0	33
	福井	42			0	42
中部	岐阜	74			0	74
	静岡	95			0	95
	愛知	132		1	-1	131
	三重	61			0	61
合 計		2,208	1	3	-2	2,206

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	31			0	31
	京都	47		1	-1	46
	大阪	113		1	-1	112
	兵庫	74			0	74
	奈良	37			0	37
中国	和歌山	38			0	38
	鳥取	14			0	14
	島根	23			0	23
	岡山	35			0	35
	広島	80			0	80
四国	山口	38			0	38
	徳島	25			0	25
	香川	44			0	44
	愛媛	41			0	41
	高知	23			0	23
九州	福岡	54			0	54
	佐賀	24	1		1	25
	長崎	19			0	19
	熊本	24			0	24
	大分	20			0	20
	宮崎	25			0	25
	鹿児島	28			0	28
	沖縄	17			0	17
合 計		2,208	1	3	-2	2,206

構成員登録申請企業一覧表

令和4年3月7日現在
令和4年3月15日決定

(1 社)

[illegible]

3社)

[illegible]

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2022年3月2日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度	4月	9,992	89.0	3,528	90.0	199	99.5	362,750	90.3
	5月	9,444	89.5	3,520	93.6	276	187.8	365,800	95.4
	6月	9,925	84.0	3,648	85.2	85	113.3	369,050	85.4
	7月	9,701	81.0	3,543	74.5	42	32.1	356,400	73.9
	8月	9,414	84.3	2,914	69.2	54	108.0	294,100	69.4
	9月	10,068	97.6	3,368	96.7	251	165.1	349,350	98.2
	10月	9,613	90.6	3,284	89.3	107	97.3	333,750	89.4
	11月	9,371	93.1	3,000	85.5	286	307.5	314,300	88.4
	12月	9,179	88.6	3,380	83.9	226	209.3	349,300	85.6
	1月	8,377	104.9	3,183	119.6	96	89.7	323,100	119.0
	2月	8,595	95.2	3,083	102.8	198	95.2	318,200	102.5
	3月	10,435	106.1	3,767	103.5	58	58.6	379,600	102.9
	年度計	114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度	4月	10,536	105.4	3,876	109.9	120	60.3	393,600	108.5
	5月	10,422	110.4	3,876	110.1	108	39.1	393,000	107.4
	6月	10,850	109.3	4,124	113.0	175	205.9	421,150	114.1
	7月	10,664	109.9	3,701	104.5	109	259.5	375,550	105.4
	8月	9,537	101.3	3,225	110.7	74	137.0	326,200	110.9
	9月	9,948	98.8	3,427	101.8	179	71.3	351,650	100.7
	10月	12,094	125.8	5,309	161.7	220	205.6	541,900	162.4
	11月	10,125	108.0	3,464	115.5	141	49.3	353,450	112.5
	12月	10,655	116.1	4,274	126.4	364	161.1	445,600	127.6
	1月	8,622	102.9	3,477	109.2	145	151.0	354,950	109.9
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計	103,453	108.8	38,753	116.1	1,635	100.8	3,957,050	115.8

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

2022(令和4)年度 主要会議日程表

日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土																		
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																	
	24	25	26	27	28	29	30																									
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31															
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																						
	29	30	31																													
6	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30													
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																				
	26	27	28	29	30																											
7	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																	
	24	25	26	27	28	29	30	31																								
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																					
	28	29	30	31																												
9	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30												
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																			
	25	26	27	28	29	30																										
10	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																
	23	24	25	26	27	28	29	30	31																							
	30	31																														
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31													
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																				
	27	28	29	30	31																											
12	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31											
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																		
	25	26	27	28	29	30	31																									
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31															
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																						
	29	30	31																													
2	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31												
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																			
	26	27	28	29	30	31																										
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31															
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																						
	29	30	31																													
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31															
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																						
	29	30	31																													
5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30													
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																				
	26	27	28	29	30																											
		</																														

2022.2.21 現在

 ↓ 夏期・年末年始休日
 ↓ 土日・祝日
 ↓ 振替休日
 ↓ 休日出勤

開催年月日	三役会	理事会	委員会	その他	備考
2022年(令和4年)					
4月8日(金)	12:00			※全国事務局長会議	
4月25日(月)	12:00	15:00		16:30 懇親会 17:30 懇親会	
5月17日(火)	14:30				
5月24日(火)	10:30	14:00 ※			※決算・事業報告・総会招集
6月15日(水)	9:00	11:30		17:00 懇親会	14:00 全鉄評株主総会
7月5日(火)	14:00				
7月12日(火)	10:30	14:00			
8月25日(木)	14:00				
8月26日(金)				11:00 技術審議会	
9月20日(火)	14:00				
9月29日(木)	9:30	11:30		15:00 賛助会員との懇親会	17:00 賛助会員との懇親会
10月18日(火)	14:30				12:00 全鉄評取締役会
11月8日(火)	14:00				
11月15日(火)	10:30	14:00			
11月16日(水)					
12月15日(木)				18:00 事務局職員との懇談会	
12月16日(金)	14:00			16:30 新年賀詞交歓会	※全国理事長会
1月20日(金)	9:30	12:00	15:00 ※		
2月14日(火)	14:00				
2月21日(火)	10:30	14:00			
3月7日(火)	14:30				12:00 全鉄評取締役会
3月14日(火)	10:30	14:00			
2023年(令和5年)					

開催団体	開催年月日	開催時間	開催場所
【青年部会】	2022年 月 日 ()		
総会・全国大会	2022年 月 日 ()		
2023(令和5)年度予定			
三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)	2023年4月7日(金)		
三役会(14:30) 参考:全鉄評取締役会(12:00)	2023年5月16日(火)		
三役会(10:30) 理事会(14:00)	2023年5月23日(火)		
三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00)	2023年6月16日(金)		
参考:全鉄評株主総会(14:00)			

* = 変更箇所

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 2月分

(A)

提出日 令和4年3月4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・8日(火) 三役会・役員会	・1日(火) 工場審査 ・15日(火) 工場審査 ・22日(火) 工場審査⇒JR運休のため、3月3日(木)に延期
函館		
室苦小樽		
旭川	・14日(月) 営業会議	
北見	・24日(木) 委員会(例会)	
帯広		
釧路		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ～ 9	2 ～ 5	1 ～ 3	75 ～ 110		○				
函館	4	3	2 ～ 4	60 ～ 100			○			
室苦小樽	5 ～ 10	1 ～ 4	1 ～ 3	70 ～ 110		○				
旭川	11	1 ～ 4		70		○				
北見		1 ～ 4		50 ～ 70		○				
帯広	1 ～ 6	1 ～ 3	1 ～ 2	50 ～ 100		○				
釧路	10	1 ～ 6		60		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積みについては、前月とほぼ横ばい。工場稼働率は一進一退。見積りは「少ない」が50%でやや多いものの、「同じ」が46%と拮抗している。鋼材価格の上昇と納期の長期化に苦慮しているが、工場の稼働見込みや見積り依頼の増加など明るい兆しが見えてきている。 共同積算:1-2月 17,587t 平年比70% 前年比86%
函館	・各会員、稼働率・山積み共に、先月と変わらず低めで推移している。中小規模ではあるが、春から着手予定の見積りは複数出てきている。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・鋼材の価格上昇が続いており、それに伴い消耗品等も値上がりし、請負原価の上昇を招いている。受注金額に対する利益率は引き続き厳しい状況にある。見積りに関しては、見積り期限が短く、さらには札幌共同積算事務所の積算対応が厳しい状況が続いている。
旭川	・鋼材単価アップ分の価格交渉をするが、対応されない案件がある。
北見	・各社共に、2～3月の工場稼働はやや休止状態。これから先、各単価の上昇に伴い、ゼネコンとの折衝に困難することが予想される。
帯広	・先月と状況に変化はなく、仕事量の減少に各社不安視している。
釧路	・1月同様、工場稼働率は30～50%で、この状況は春まで続く見込み。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2022 年（令和 4 年）2 月分

(A)

提出日 令和 4 年 3 月 2 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○2/3 正副理事長会議	○2/17 2 月期役員会（中止、書面配布） ○2/24 東北鉄構工業連合会積算業務委員会（WEB）
岩手県	○2/2 令和 3 年度後期性能評価（1 社） ○2/14 三地区合同会議・研修会（盛岡）	
宮城県	○2/2 工場性能評価審査（1 社） ○2/17 理事会	
秋田県	○2/4.8.9. 工場審査 3 社 ○2/25 営業担当者会議	
山形県	○2/1.3,22,25 工場審査（4 社） ○2/17,24 技術・品質サポート（各 1 社） ○2/28 「溶接・品質管理技術に活かす非破壊検査技術」セミナー（初心者向け）	
福島県	○2/4 第 5 回理事会（中止） ○2/10,16,18,22,24,25 性能評価審査（各 1 社） ○2/25 青年部第 4 回役員会	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	5～15	1～14	1～5	50 ～ 110		○				
岩手県	2～11	2～7	1～2	70 ～ 100	○					
宮城県	6～12	2～5	1～3	60 ～ 120			○			
秋田県	7～8	1～9	1～3	70 ～ 100			○			
山形県	3～10	2～7	1～7	80 ～ 100	○					
福島県	6～10	1～12	0～6	30 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	前月に引続き地元見積物件の動きが悪く、グレードによる各社の仕事量のバラツキが大きくなってきた。また鋼材価格の高騰が続く中、受注価格への影響に不満の声が増加。加工費を下げすぎないように、組合員間で注意が必要。
岩手県	見積物件数が 2 ヶ月続いて改善傾向となっているが、依然として「見積は少ない」との声も聞かれており、組合員間のバラつきが目立ってきている。加工費の改善と鋼材入手難の解消が進まず、引き続いて厳しい状況にあることに変わりはない。
宮城県	物件の動きが鈍く、GC からの指値交渉が厳しい状況。鋼材納期の遅れが目立つので、受注前や積算時に材料の納期を確認し、工程の調整が必要となるが、当初の予定よりもさらに納期が遅れる物件も散見される。
秋田県	手持工事量、物件数は冬場から少な目が続いている。鋼材・副資材の確保が難しく不安材料となっている。
山形県	県内見積件数は前月が少なかった為、今月は大幅に増加し、大型物件が久々に 1 件(20,000 m ²)発生した。景気動向は、現状のままだが最も多い。
福島県	H グレードは工程のズレがあるもののそれなりの受注と稼働率が高いようですが、M・R グレード以下では工場稼働率も格差があるようです。仕事があっても工程遅延や回答遅延、さらには工事中止等の要因で稼働率や売上自体が下がるケースも見受けられます。どの見積でも多くの元請が入札参加しており、元請自体、物件を受注することが難しい状況。FAB も材料高や他工法への変更等含めて向かい風の中での受注活動になりますので今後しばらくは厳しい状況が続くかと思えます。

< 関東支部 > 状況報告書

2022年(令和4年) 2月分

提出日 令和4年3月10日

(A)

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
東京都	16日 理事会、青年部会、M部会 19日 東構塾	関東支部活動・行事等
千葉県	18日(金)三役・支部長会、工場審査4社	
神奈川県	17日 事業運営委員会(リモート)、21日 改正電子帳簿保存法セミナー、24日 理事会、性能評価工場審査 1件	
茨城県	8日 外国人技能実習機構監査、10日 茨城建産連意見交換会、18日 第6回理事会	
埼玉県	2日(水)総務委員会、9日(水)理事会、安全大会、24日(木)県西支部会、2月中 工場審査5件	
栃木県	2/2 性能評価審査、2/4 10周年記念事業実行委員会、2/10 定例理事会(リモート)、2/17 青年部役員会	
群馬県	工場審査(5工場)	
長野県	・2/3工場審査サポート(1社)、2/8～25:工場審査(7社)、2/19.20:UT学科講習会	
山梨県	4～6日 アーク溶接特別教育(山梨大学)、12日 溶接JIS検定、15～16日 ガス溶接技能講習(堀之内訓練所)、16日 工場審査(Mグレード1社)、17日 工場審査(Hグレード1社)、18日 令和4年度溶接競技大会キックオフ会議、18日 理事会、22日 青年部会、24日 溶接安全委員会、25日 経営近代化委員会、28日 教育技術委員会、溶接作業マンガン特殊検診(2日:45名、3日:48名、24日:33名)	
新潟県	2/18 第6回理事会、2/1～24 工場審査(6工場)	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	5～12	2～6	2～4	60～100		○				
千葉県	3～12	1.5～6	3.0	50～100			○			
神奈川県	10～13	0～5	3.0	0～120		○				
茨城県	8～12	5～8	2～3	80～100		○				
埼玉県	5～12	2～12	1～5	50～100		○				
栃木県	6～13	4～8	1～6	70～100		○				
群馬県	7～11	1～5	1～3	70～100		○				
長野県	7～14	1～9	0.5	5～110			○			
山梨県	12.0	0.8～10	2～3	70～120			○			
新潟県	6～18	2～7	3～6	95～100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	仕事量は回復基調にあるが、見積り依頼はあっても単価設定がかなり厳しい状況にある。今後も値上げが予定されている鋼材等の材料価格や以前ほどではないが発注材料の入手難等によるハードな経営環境は変わっていない。
千葉県	材料価格の高騰に歯止めをかけていただきたい。4月にHTBが値上がりするとのこと。見積りが減少気味。令和5、6年は忙しくなりそうなので早めの人材確保が必要。
神奈川県	公共工事の件数も増えており、500t未満の民間工事案件の見積もりも増えてきた感があります。鋼材費は踊り場局面、納期に関しては多少緩んできた感じですがBCPIについては依然として12～14カ月と回答されます。ここに来て副資材、溶材、ガス等の値上げが盛んになってきた。受注価格に関しては値上がり分を見込んだ価格でネゴをしています。地方FABとの競争が激しく難航しています。
茨城県	*見積りは出てきているので、今後に期待している。鋼材がまた値上げになり、見積り単価設定が難しい。商社の大型案件はかなりのあるが、単価は微妙。 *物流倉庫の見積もり依頼多いです。中小物件も見積もり依頼出てきたように思われます。
埼玉県	建築着工統計によれば2021暦年での推定鉄骨需要量は前年比14.1%増の462万トンとのこと。このコロナ禍において量だけ見るとまずまずと言えるかもしれないが、質(中身)は大型物件が増えており、今後も10万トン級の物件がいくつも予定されていることを聞くと、大手ファブには明るい話だが、当県の組合員規模からみると、今だ先きの見通しは明るくない。
栃木県	・特定化学物質について今後の扱い(保護具・換気設備の検討及び年2回の健康診断の実施等)に困っている。 ・細かい箇所の納まりが中々決まらない。 ・鋼材価格の上昇で見積もりと受注金額が合わない。
群馬県	Hグレードは稼働率85～100%で手持量7～11ヶ月、Mグレードは稼働率85～100%で手持量1～5ヶ月、Rグレードは稼働率70～100%で手持量1～3ヶ月である。R・Mグレードで5月以降の仕事を心配する声がある。
長野県	・先行きの不透明感はあるが、今秋辺りから物件がかなり見込めそうとの声もある。 ・鋼材価格・副資材の更なる価格上昇を懸念。請元からの図面進行が速いことを希望する。
山梨県	公共物件は相変わらずほとんどありません。民間も12月前後は多かったものの、ここに来て減少気味で引き合い件数も少なくなってきました。溶接ワイヤの値上げが4月に計画されているほか、消耗品の値上げやマスクなど法規制に係わる物品は納期が長期化傾向にあります。
新潟県	鋼材の価格の急上昇と入手困難が続いており先が見えず、受注判断に苦慮している組合員が多い。一方で、見積り合いが増えてきている。地元案件の発注増につながればありがたい。

＜ 北陸支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年（令和4年） 2月分

(A)

提出日 令和 4年 3月 8日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	2日(水) 工場審査(Hグレード1社) 4日(金) 建産連 足立議員との意見交換会 4日(金) 全青会北陸ブロック役員会(WEB) 10日(木) 青年部会・第6回役員会 (web) 21日(月) 中小企業団体中央会・ズームセミナー	5日(土) 青年部北陸BC研修会 21日(月) 全構協第6回理事会(WEB)
石川県	2日(水) 後期工場審査(Rグレード1社 加賀) 4日(金) 後期工場審査(Hグレード1社 加賀) 25日(金) 第6回三役会・理事会	
福井県	1日 定例三役会・役員会 3日 性能評価工場審査(～25日までに9工場) 5日 全青会北陸BC研修会(Zoom) 28日 総務委員会	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	5～12	2～4	1～3	80～100			○			
石川県	6～12	3～5	2～4	80～100			○			
福井県	4～12	1～5	1～2	60～130		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大手ファブの仕事量については、全く問題はない。中小ファブについては、徐々に仕事は増えてきており、多少明るさが見えてきている。しかし昨年より続く鋼材の急激な値上げや、入手難もBCP、BHなどを除いて落ち着きつつあるが、価格は今後も段階的に上昇すると考えられ、鉄骨受注単価の引き上げが未だに追いついておらず、加工費にシワ寄せきており、採算は厳しくなっている。
石川県	鋼材単価の上昇分の価格転嫁が追いつかないことに加え、材料納期の長期化と納期の遅れからも工場加工工程の見直し、調整により加工費が圧迫されてきている。さらに、材料納期の長期化による前段取りの手間、その他建設資材の調達難からの図面承認遅れ、現場の工程の見直しによる建方工期の遅れの影響で製作工程の調整が生じ、加工費の圧迫になっている。中小ファブについては、1物件が完了すると次の物件までの間が空くなど工事量、稼働率について波があり、まだら模様。見積りも減少しているとの声もあり先行きの不透明感が増している状態。
福井県	・稼働率は各グレード共ほぼ100%を超えており特に上位になるほど高い。 ・年度末を前に公共工事を中心に見積引き合いが増えてきているが、高騰する主要鋼材単価が設計価格に反映されていないためGC・FABともに受注に腰が引けている。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 2月分

(A)

提出日 2022年(令和4年)3月4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
岐阜県	22 日(火) 理事会	21 日(月) 全構協:理事会 出席
静岡県	16 日(水) 役員会	
愛知県	性能評価工場審査 6件	
三重県	25 日(金) 第10回理事会 性能評価サポート5社 審査当日迄継続 性能評価工場審査4社完了、1社3月3日受審	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3~12	3~9	1~6	30 ~ 110		○				
静岡県	5~10	1~6	2~6	70 ~ 110			○			
愛知県	10~16	3~11	1~3	40 ~ 110		○				
三重県	12~18	2~5.5	2~4	100 ~ 125			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・単価が厳しい。200t程度の案件で、柱・梁(加工のみ)で55千円でも取れない。 ・BCP等の納期が長期化(14ヶ月)のため、1年以上先の引き合いが多い。 ・元請け受注競争と、鋼材価格高止まりで加工費が圧縮されているように思われる。 ・先行発注した材料の納期が来たが、図面・確認申請等まだ未解決部分が多いにも関わらず鋼材は入荷し、図面が決まらず生産効率が悪い。建方も延期等でトラブル続きとなっている。 ・工事量の多いところ、少ないところと不安定になっている感がある。 ・スケジュールの変更で加工予定に穴が開くと、その穴埋めが難しい。 ・相変わらず鋼材の確保困難な状況と価格の高騰で受注にも影響が出ている。 ・鋼材不足は解消されつつあり、Rグレード以下で工場稼働率の回復傾向が見られる。
静岡県	・材料納期が工事受注の肝になっている。価格は高止まりしているが、地域間の格差が実態としてあるため顧客との金額の折り合いが難しい。この傾向は当面続くと思われる。 ・材料の値上げは落ち着いてきているが、ガソリンの値上げによるコストアップが懸念される。 ・S造から他構造に変更する現場が出てきている。 ・見積案件が多少多くなっているが、即着工というわけでもなく、施工側も世間の状況を様子見という感じが強く感じられる。そのため、受注時期・加工時期の後ろへのズレが発生し、稼働状況が安定しない。まだ活気づき気はしない。 ・改修工事の見積りが多く、建物の見積りが少ない。 ・コロナや半導体不足の影響により、決まっていた建屋の仕事が数ヶ月先に延期されるなど、今後の仕事の状況が不透明になってきた。
愛知県	・S造から他構造へ変更する物件が散見される。 ・鋼材の高騰、材料の入手困難、人材不足等、明るい見通しが少ない。 ・見積りは多いものの、足元の物件は少ない。 ・加工賃の値下げ(鋼材価格上昇分の転嫁)要求が多い。 ・二極化が益々進むと思われる。 ・小規模物件の見積もりが少ないように思われる。
三重県	・2022年内は仕事量を確保しているが2023年以降の見通しが不透明。 ・鋼材納期の遅延化により早めの仕事確保を行っていく必要がある。 ・加工単価交渉難航が継続状態。材料価格の高騰がいつ落ち着くのか不透明の中で上げ止まりという声も聞こえてくるが実際はわからない。 ・鋼材納期の影響により、仕事量の二極化が進んできた様に思われます。(S・Hグレードは年内来年までいっぱい、Mグレード以下は仕事が薄い) ・上記のような状況では益々Mグレード以下の加工賃が下落していくことが予想されます。また商社案件も増えてくると思われます。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2022年(令和4年2月分)

提出日 令和4年3月7日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・2/22 理事会(Web)	
京都府	・2/1 京都市陳情 ・2/1 準備委員会調整会議 ・2/4 京都府陳情	
大阪府	・2/1、3、4、9、15 サポート5社 ・2/2、10、14、16、18、22 工場審査6社	
兵庫県	・2/8 四役会 ・2/1、2/3 サポート2社 ・2/2、2/4、2/9、2/15 工場審査4社	
奈良県	・2/2、2/4、2/8、2/15 工場認定4社 ・2/15 三役会・理事会 ・2/17、2/21、2/22、2/24、2/25 工場認定5社	
和歌山県	・2/1サポート1社 ・2/15、2/17、2/21、2/24 性能評価審査5社	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	10 ~ 16	4 ~ 10	1 ~ 4	60 ~ 100		○				
京都府	3 ~ 12	3 ~ 10	1 ~ 3	90 ~ 100			○			
大阪府	7 ~ 14	1.5 ~ 6	1 ~ 5	60 ~ 100		○				
兵庫県	10 ~ 12	2 ~ 4	1 ~ 3	70 ~ 100		○				
奈良県	~	2 ~ 7	1 ~ 3	80 ~ 100		○				
和歌山県	10 ~ 18	2 ~ 10	1 ~ 3	60 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	新規物件の動きは活発化している。BCP案件は来年加工分、BCR案件は夏場～秋口に集中している印象。足元は厳しい状況も物件の件数先行きは安定すると考えられる。しかしながら価格指値は厳しい為、我慢が必要と考える。1年後に安価な受注を後悔しないような価格交渉を業界全体で心掛けたい。
京都府	鋼材価格は高値安定してきたが受注金額への転嫁までは時間がかかり、加工費への圧迫感が続く。工事量の低下による元請けの価格競争により、指値厳しく受注に混迷しています。大型物件はあるのですが、弊社に手頃なサイズの物件の情報が全くない。鋼材、副資材等の高騰を受け新規中小物件のS造計画が少ないように感じる。6月以降の引合いはあるがまだ計画段階で不確実。見積物件は少しずつ増えて来ているが3カ月以降先の見通しが立っていないとの声もある。
大阪府	年始当初より見積依頼は増加しているが、夏以降の物件で計画段階が多いので、実態は見えてこない。鋼構造ジャーナル内の建築用鋼材価格のページを見ると、価格は上向きから横向きの印が目立ってきた。価格の上昇は今後落ち着くのであろうか。また、入手難により建物の構造が変わってきたように思える。コロナの第6波はピークダウンし始めているが、感染者や濃厚接触者は休みを余儀なくされ、生産や行事にいろいろな影響を及ぼした。仕事の確保と共に、生産者の確保やシステムの構築が求められる。
兵庫県	鋼材価格は相変わらずの高値高止まりの状態が続いている。副資材も相変わらずで高値が続きそうな模様。大型物件は動きがあるようであるが、中小の物件が少ないように見受けられる。原油、小麦をはじめすべての物が値上げに向かっている様子。ウクライナ情勢が今後どのような影響をもたらすのか注目されるところである。
奈良県	・物件数は増加しているが、規模的に500t前後の希望する物件が、少ないような気がします。 ・見積もり物件は落ち着いているも、半導体の入手難がどう影響するのか、不安材料は大きい。 ・鋼材価格は高止まりで、ボルトも入荷が少なく、また、オミクロン株で工程がずれています。
和歌山県	コロナの影響で計画延期、突然山積みがいってしまっていて困っていると話を聞く。 ウクライナ情勢の影響で原油価格が上がり、また物価上昇も歯止めが効かない状況。 鋼材の原料輸入に影響が出て、価格に跳ね返ってこなければ良いが。

< 中国支部 > 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 2月分

(A)

提出日 2022年(令和4年) 3月7日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	7.11 日 9 日 (水)	工場審査 2社 東部支部例会	8 日 (火)	全構協:三役会(東京)
島根県			22 日 (火)	全構協:三役会(東京) 全構協:理事会(東京・リモート)
岡山県	8~17日	工場審査 4社		
広島県	2~25日 4 日 (金) 26 日 (土)	工場審査 14社 建築学会中国支部第2回鉄骨製作部会(リモート) 建築学会中国支部鋼構造シンポジウム(リモート)		
山口県	1.2 日 10~25日	工場審査サポート 2社 工場審査 6社		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)		③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	5 ~ 14	4 ~ 6	1 ~ 2	70 ~ 100			○				
島根県	0 ~ 1	2 ~ 6	1 ~ 2	30 ~ 100				○			
岡山県	10 ~ 15	2 ~ 8	3 ~ 10	80 ~ 100				○			
広島県	7 ~ 22	4 ~ 8	2 ~ 9	50 ~ 120			○				
山口県	5 ~ 7	1 ~ 4	1 ~ 2	70 ~ 100				○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	ばらつきはあるが全体的には仕事量の確保は出来てきているようだ。鋼材価格の上昇も昨年程ではないが続いており厳しい指値の対応に苦戦している。頑張りすぎると他社に取られるケースも多いのでいっそうの工夫する必要がある。しかし副資材費や燃料の値上げの為運送費も上がって来ているので注意して受注することが望まれる。
島根県	Hグレードについては、今年前半は仕事量が少なく、直近2~3か月は工場稼働率がかなり下がる見込みである。Mグレードは夏場頃までは忙しいところもあれば、仕事量の少ないところもあり2極化している。Rグレード以下の下位グレードについては、年度内の仕事量は確保できているが、新年度以降については不透明な状況であり、構成員全般の仕事量確保については、依然として企業格差が窺える状況である。一部に引合い・見積もりが出ているところもあるが、全般的には見積物件数は少ない状況である。鋼材の入手難並びに価格上昇も更に続いており、受注活動が難しい状況に変わり無く、採算面に於いても非常に厳しい状況が続く見通しである。
岡山県	年度末を迎えて各社とも繁忙な状況にある。只、年度明け以降の工事積上量は今一步の状況であり、これまで順調であったHグレードでさえ一部の工場では先が見通せない状況となりつつある。Mグレード以下の地場で仕事を行う工場はそれ以上に深刻な状況であり、春以降仕事が枯渇する恐れもある。折角落ち着いてきた価格が崩壊するのは時間の問題であり、材料の調達コストの上昇と相まって厳しい春を迎える事になりそうである。
広島県	今月は、稼働率100%以上の回答企業が50%で、2社を除きすべて80%以上の稼働率となり、繁忙期に向かいつつあるようだが一方で、物件受注ができず、他社の応援工事を中心に稼働率を確保していると報告する企業も複数社ある。手持ち工事量では、Hグレードは7~22か月と多くの仕事を抱える一方、Rグレードを中心に4か月以下が50%を占め、格差が生じている。見積りについては、「普通」と「少ない」がほぼ半々で、目立って改善していない。鋼材の価格上昇と長納期化については、納期の平準化や価格の頭打ちで、ようやくひと段落の状況。BCPの納期改善が見えず、RCS等へ設計変更する物件の発生が報告され、こうした現象の拡大が懸念される。需要の回復を実感しながらも、北京五輪後やコロナ禍、ウクライナ情勢など、読みづらい今後の動向に、期待と不安が交錯している模様。技能実習生の入国再開(3月)への期待や、政府の賃上げ要請への対応を模索する声も聞かれる。
山口県	Hグレードでは、残工事の減少や仕事を確保していても数量的に少なく稼働率が上がらない状況が続くそうだと話す。見積物件数は平年並みに落ち着いてきているものの未だに材料価格が安定せず、消耗品も値上げになっているため、価格を出すのに大変苦慮している。また、材料納期の面は長いなりに若干落ち着いている様子。M・Rグレードでは、現状は忙しいとの声が多いが、継続的な付き合いの客先から改修・小口等を受注して直近だけが埋まっているや見積物件が少ないため今後に不安ありとの声もある。地域によって未だ鋼材・ボルトの入手難が続いているようだが、材料・副資材の値上げ発表は一巡した感があり、入手難だった材料が以前よりは入りやすくなった様子。ただし、今後も材料値上げなど予断は許されず見積判断も厳しくなりそうのため、より一層のファブ同士の情報収集・共有が必要と思われる。不安定ながらも次年度に向けて見積案件が増えてきた地域もあり今後に期待したい。

< 四国支部 > 状 況 報 告 書

2022年(令和4年)2月分

(A)

提出日 令和 4年 3月 7日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	8日(火) 第11回情報交換会・理事会 4日(金)・18日(金) 性能評価工場審査	
香川県	17日(木) 新規グレード取得推進 18日(金) 2022年前期工場審査事前サポート	
愛媛県	4日(金) 理事会	
高知県	3日、10日、18日 工場審査サポート 16日、17日、22日、24日、25日 工場審査	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 6	~ 3	1 ~ 3	80 ~ 100			○			
香川県	~	2 ~ 3	1 ~ 3	80 ~ 100			○			
愛媛県	4 ~ 11	2 ~ 5	1 ~ 5	80 ~ 100			○			
高知県	5 ~	1 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	2月の物件報告数は、全体では前月比150%と増加しているが県内物件はほぼ同数。Hグレードは夏までの仕事は確保できているが、M・Rグレードは少ない状況が続いている。材料の値上がり、ゼネコンの指値と不安材料が多く、先行き不透明。
香川県	依然として見積もり物件は少なく、特に県内の中型物件が少ないものの大型物件と小型物件は若干上向き傾向がみられる。また、商社及び県外物件が対応できるFABは仕事を一定程度確保しており全体的には多少持ち直し感が出ている。しかし、鋼材・副資材・溶材などの値上がりで厳しい環境は続いている。
愛媛県	今月も平均80~100%の工場稼働を維持しているが、残業は一部のHグレードを除いてほぼ無い状態で前月からは横ばい。今後を占う見積状況については県内での大型物件の見積をしていない。年明け以降見積が減っている等、県内物件の今後の動きは弱含みである。
高知県	見積り件数は相変わらず少ないが、仕事の各社の融通で稼働率はある程度ある。単価、資材の価格等不安要素は多々ある。

＜ 九州支部 ＞ 状 況 報 告 書

2022年(令和4年) 2月分

(A)

提出日 令和4年3月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・2/8～22 性能評価工場審査(Hグレード1社、Mグレード4社、Rグレード1社) ・2/14 福岡県建築鉄骨協議会(中止)	・2/28 第12回支部事務局WEB会議
佐賀県	2/2 工場審査 1社 2/27・28 建産連行事 参議院議員との懇談会出席	
長崎県	2/1～2工場審査(4社)、2/3 第8回講習会WG会議、2/8 第6回総務・経対委員会、2/10 建専協 県との意見交換会(※書面実施)、2/16鉄骨研)鉄骨製作工場WEB見学会、2/17 第4回3役会、2/21 第2回50周年事業委員会、2/24 理事会・例会(WEB)、三役会	
熊本県	2/2、2/3、2/4、2/8 工場審査 2/16理事会、2/25鉄骨問題協議会	
大分県	2/2 工場審査1社 2/10三役会・理事会・認定部会<対面・WEB併用開催>	
宮崎県	2/2 三役会議開催 2/10 青年部会幹事会開催 2/18 組合創立50周年記念事業(中止)	
鹿児島県	2/14性能評価支援パトロール 2/15、2/17、2/24性能評価工場審査	
沖縄県	・2/8:理事会、15日:営業部会及び青年部会懇親会、2～17日:性能評価審査工場支援、22日:性能評価工場審査(2工場)	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	4 ～ 12	2 ～ 6	1 ～ 2	70～100		○				
佐賀県	6	2 ～ 10	1 ～ 4	80～100			○			
長崎県	5 ～ 8	3 ～ 7	—	90～100		○				
熊本県	7 ～ 8	3 ～ 7	2	92.5			○			
大分県	12	4 ～ 6	—	80～100		○				
宮崎県	6～12	1～4	1～2	60～100			○			
鹿児島県	5～18	1～12	0.8～1	45～120			○			
沖縄県	1.5 ～ 3	0.5 ～ 2	1 ～ 2	50～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・今後の大型物件等の計画は多いが、中小物件が不透明。大型物件の影響で夏場以降はかなり忙しくなるのではないかと？
佐賀県	・最近は見積件数が少ない。今後の見通しが厳しい状況になる。 ・受注単価は多少の上積みになっているものの、まだ十分といえる状況ではない。
長崎県	・見積り件数は増加している。鋼材価格の高止まりと思っていたが、欧州の紛争に依る影響が懸念される。 ・発注物件が増加している。予算は厳しいが受注は定着してきている。 ・新規物件は出てきている。FABの受注量も明るくなってきたように見える。
熊本県	指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず…) 商社の動きが顕著になってきた。材料の入手困難により見積物件が減ってきた。
大分県	◎昔からそうでしたが、ここ最近、より一層図面の決まりが非常に悪い。余計な残業など経費が掛かり過ぎる。◎見積は少なく、受注確率も下がっている。◎忙しい割には、受注金額が少ない。◎今年は多少引合は増加するのではないかとと思う。
宮崎県	・昨年からの稼働率が低い状況が続いている。鋼材価格の高騰も暫くは続くと思われることから先行きは不透明。 ・中小規模の物件は少ないものの、大型物件に関しては首都圏を中心に春以降増加に転じるものと思われる。
鹿児島県	材料の高騰でなかなか受注が厳しい状況。S造の中小物件がさらに減少するのでは。グレード間で手持ち量の格差が広がっている。
沖縄県	・見積件数が少ない。4月以降の仕事量の確保が不透明。特に中小物件がなく今後厳しくなってくる。